

議題 2

令和3年度外部評価 対象事業について

- 1 対象事業選定の視点
- 2 対象事業一覧
- 3 対象事業概要

1 対象事業選定の視点

(1) 事業内容のバランス

- ・第8次総合計画の要素「5 K」それぞれの事業からバランスを考慮して選定



※行財政運営に関する事業についても選定する。

(2) 業務の効率性や最適化の観点から外部評価が必要と考えられるもの

1 対象事業選定の視点

- (3) 行政課題として検討が必要なもの
- (4) その他、社会情勢の変化に対応するため、外部評価にかける必要があるもの

2 対象事業一覧

No	課名	事務事業名
1	秘書課	市政情報提供事業
2	経営情報課	I C T 推進事業
3	市民協働課	国内交流事業
4	障害福祉課	障害者移送事業
5	子育て支援課	ファミリー・サポート・センター事業
6	商工課	がんばる中小企業応援事業
7	建築課	空き家対策事業
8	下水道課	下水道接続促進事業
9	文化振興課	市民公募文化事業（文化芸術協働事業）

① 市政情報提供事業 (秘書課)

事業概要

市民が、様々な媒体から市政に関する情報を得ることができるよう、報道機関への情報提供、市政映画の製作等を行っています。平成30年度からLINEによる市政情報の発信を行っています。

LINE公式アカウントによる市政情報の提供

市政情報を8つのジャンル(暮らし・防災、イベント・講座ほか)に分けて配信。友だち登録の際に、受け取りたいジャンルを選択することができます。

登録者数 4,038人(令和2年度末)

システム運用委託料 1,188千円(年間)



3 対象事業概要

② ICT推進事業 (経営情報課)

事業概要

AI・RPA等のICTの利活用により有効性を見極めながら行政のデジタル化を進め、市民サービスの向上や業務の効率化を図ります。

行政手続のオンライン化推進

申請・届出等の手続について棚卸を行い、利用件数や導入による効果を検証しつつオンライン化の推進を図ります。

(例) スマート申請

マイナンバーカード読取アプリにより、専用リーダー不要で電子署名から決済までワンストップで行えます。基本4情報はマイナンバーカードから自動読取するため、入力する必要はありません。

入力

署名

決済

申請



のまち、安城

3 対象事業概要

③国内交流事業 (市民協働課)

事業概要

《市民交流事業》

市民団体が災害時相互応援等の協定を締結している市町村内で活動する団体と交流活動をする際の交通費等に対し、補助金を支給しています。

(補助率：2分の1 補助限度額：1事業につき10万円)

【補助金支給件数(支給総額)】

R1：3団体(136,000円)

R2：1団体(申請したがコロナ禍により中止)

《被災地ボランティア支援事業》

災害の発生した地域において、市民が行う災害救援活動、復興支援活動及び被災地の復興につながる活動をする際の宿泊費、交通費に対し補助金を支給しています。

【補助金支給件数(支給総額)】

R1：延べ40人(345,300円)

R2：1人(6,200円)



④ 障害者移送事業 (障害福祉課)

事業概要

障害のある人の外出時の移動手段を確保するため、タクシーを利用する場合の一部料金、普通自動車免許取得費の一部及び障害者自ら運転する場合の自動車の改造費用の助成を行っています。

障害者福祉タクシー料金助成事業

身体障害者（１～３級）、知的障害者（Ａ・Ｂ判定）、精神障害者（１・２級）の方で、外出でタクシーを利用する場合に料金の一部を助成します。

（自動車・軽自動車税の減免を受けている方と高齢者福祉タクシー料金助成利用券の交付を受けている方は除きます。）

【交付実績（令和２年度）】

交付人数：１,２７３人 利用回数：１３,０４０回

助成額：１７,６６３千円

⑤ファミリー・サポート・センター事業（子育て支援課）

事業概要

「子育ての手助けをしてほしい人（依頼会員）」と「子育てのお手伝いをしたい人（提供会員）」が会員となってお互いに助け合う会員組織です。

【会員数】834人（R3.3.31現在）

内訳：依頼会員 725人 提供会員 64人

両方（依頼・提供）会員 45人

【対象児童】0歳から小学校6年生まで

【利用料金】①基本 1時間600円（月曜日～金曜日の午前7時～午後7時）

②その他 1時間700円（月曜日～金曜日の基本時間外、土・日曜日、祝日、12月29日～1月3日）

※このほか、送迎のための交通費等、経費は依頼会員の負担。

【活動件数】3,266件（令和2年度）

【よく利用されている活動内容】

- ・子どもの習い事等の場合の援助
- ・保育園、幼稚園、認定こども園の迎え



⑥がんばる中小企業応援事業（商工課）

事業概要

中小企業振興を図るため、中小企業者等が行う人材育成、販路拡大等の経費の一部を助成することにより経営改善、組織強化及び事業拡大の促進を図ります。

《がんばる中小企業応援事業補助金》

人材育成、展示会出展、販売促進等にかかる経費の一部に補助金を支給しています。令和2年度はコロナ禍の影響を受ける市内事業者が新製品の開発や営業形態の転換を目指す新たな取り組みを支援するため新型コロナウイルス感染症対策支援事業も実施しました。（補助率：2分の1 補助限度額：補助事業の種類により10万円～60万円）

【補助金支給件数（支給総額）】

R2：405件（43,639,000円） R1：428件（35,748,000円）

《ものづくり企業研究開発推進補助金》

市内のものづくり産業の新製品・新技術開発に要する経費の一部に補助金を支給しています。（補助率：2分の1 補助限度額：200万円又は300万円（補助事業の種類による））

【補助金支給件数（支給総額）】

R2：5件（5,833,000円） R1：4件（5,866,000円）

⑦空き家対策事業（建築課）

事業概要

適切な管理が行われていない空き家及びその敷地が、地域住民の生活環境に悪影響を与える事例が増えているため、「空き家等対策計画」（平成29年度策定）に基づき、空き家所有者等に対する啓発や空き家に関する相談、適切な管理が行われていない空き家への対応等の取り組みを行っています。

空き家等対策計画に基づく主な取組

【空き家に関する相談】

空き家総合相談窓口の設置、無料相談会の開催（年1回）

【空き家の管理代行サービス】

（公社）安城市シルバー人材センターと協定を結んでおり、空き家の目視点検、草刈・剪定等を依頼することができます。（有料）

【空き家除却費補助金】

市が危険と判断した空き家を除却する工事に補助金を支給します。（最大20万円）

市民啓発用リーフレット



3 対象事業概要

⑧ 下水道接続促進事業（下水道課）

事業目的・事業概要

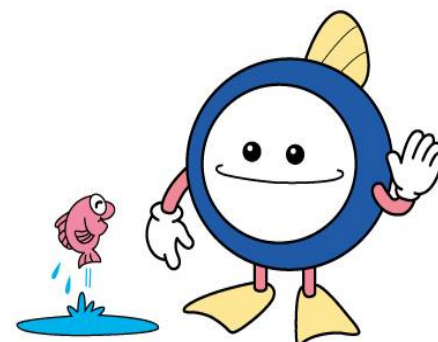
下水道使用者が安全・安心な下水道サービスを継続して受けられるようにします。整備した下水道を有効なものとするため、接続人口が増加するように継続して下水道接続促進活動を行っています。

■ 令和2年度末

- ・ 普及率 81.6%（前年比0.9%増、供用区域内人口÷行政人口）
 - ・ 接続人口141,956人（前年比1,093人増、接続率91.6%、接続人口÷供用区域内人口）
- 市内全体で考えますと、74.8%の市民が下水道を使用しています。
（前年比0.8%増、接続人口141,956人÷行政人口189,877人）

下水道接続促進に関する取り組み

- ・ 下水道事業説明会における接続PR
（「下水道接続の手引き」パンフレット活用）
- ・ 接続依頼文書発送、戸別訪問
- ・ 指定工事店事務連絡会における接続の営業活動の依頼
- ・ 広報「あんじょう」、市公式ウェブサイトでの接続促進PR
- ・ 水洗便所改造資金融資あっせんのPR
- ・ 浄化槽転用雨水貯留槽補助金のPR



スイスイ
（下水道のマスコットキャラクター）

かなえる。健幸のまち、安城

⑨文化芸術協働事業（文化振興課）

事業概要

市民又は市民団体の作品の発表や展示の場を設けたり、技芸や演劇を披露する公演の場所を提供することで、市民の文化水準の向上とそれらの作品や技芸、演劇を鑑賞する機会の充実を図ります。市民芸術祭（安美展、市民文芸まつり、市民芸能まつり、文芸・技芸・趣味の集い）、市民演劇祭、市民公募文化事業の企画実施を行っています。

市民公募文化事業

舞台芸術の振興及び鑑賞機会の拡大を図るため、市民による舞台公演に係る経費の一部を補助します。

【対象となる公演】

音楽、演劇・ダンス、伝統芸術分野等のホールの舞台で行う公演

【対象経費】

作品作製費、設営・舞台費、会場使用料、宣伝・印刷費等

【補助金額】 上限40万円（市民会館サルビアホール）

※実施場所により上限額は異なる。

【採択事業数】 R2：6事業（※）

※うち4事業はコロナ禍の影響を踏まえ中止。

